

女性活躍推進人材育成事業【諫早市】

地域の実情と課題

- ・本市は、男性従業員の占める割合が高いとされる製造業、建設業に従事する従業員の割合が高く、労働力を確保していくためにも女性の活躍は喫緊の課題となっている。
- ・県内企業の、男性の育児休業取得率は、全国平均より低く、本市でも同様の傾向がうかがえ、家庭での役割分担などの協力体制の構築や、育児休暇の取得促進や労働時間の短縮など、働く環境の整備やワークライフバランス推進の施策が求められている。

目的・目標

【目的】

・市民一人ひとりがワークライフバランスを理解し、行動にするよう啓発を強化することにより女性の社会進出を促し、本市の女性の活躍を推進する。働く意志のある女性がその能力を発揮し、希望に応じた働き方ができるよう再就職を支援し、男性の積極的な家事参画により本市の女性の継続就労を促進する。

- (1)女性の再就職支援セミナー 参加者【目標15人：実績9人】
- (2)男性の家事育児参画講座 参加者【目標4組：実績3組】

連携団体

PTA連合会、諫早市男女共同参画推進団体、地域子育て支援センター、母子寡婦福祉会、ハローワーク等

事業の特徴

- (1)再就職を希望する女性を対象に、必要な知識、技能、情報等を提供するとともに、今後のキャリアプランを考え分析するプログラムにより、ライフスタイルの変化に応じた自分らしいキャリアを築けるよう支援を行った。
- (2)子育て中の女性が離職することなく仕事を続けるには、男性の子育てや家事への参画が必要である。男性の家事育児参画意識の啓発と技能の習得を目的に講座を開催し、男性自身の抵抗感をなくし、夫婦ともに働く世帯の男性の家事や子育て等への参画に繋げる。

事業の効果

- (1)ブランクのある女性が職業面を視野に入れて自己実現を図るセミナーを実施し、今後のキャリアプランを見つめるきっかけの提供、自身の能力の可視化や再就職後への備えによる不安の払拭、就労後の定着を目指した女性の職業面での活躍の推進を図ることができた。受講者は9人で目標に達しなかったが、全員がセミナーで活用した分析ツールを今後も活用したいと回答し、目標値に達した。
- (2)コロナの感染拡大予防のため、施設利用者数を8人(4組程度)と制限したこともあり、講座の受講者は6人(3組)となり目標値の8人を達成することができなかったが、参加者全員が家事に参画したいと回答しており、目標値に達した。男性の家事育児への参画が期待でき、男性のワーク・ライフ・バランスの実現や女性の就労継続の後押しに繋げることができた。

今後の課題

- (1)ブランクを経て社会に出るハードルは高く、自分の希望・能力を可視化し自分らしいキャリアプランを見つめるきっかけを作り、働くことへの不安を解消し、女性の職業面での活躍の推進を図る必要がある。
- (2)夫婦ともに働く世帯の女性の就労継続のためには、男性の家事や育児に対する抵抗感を解消し、家事・育児等の知識や技能の向上を図る講座や意識啓発を行う必要がある。

事業の概要

(1) 女性の再就職支援セミナー

◇結婚・育児・介護などの事情により離職した女性に必要な知識・技能の習得や情報を提供するセミナーを開催。

今後のキャリアプランを考え、分析ツールを使用しスムーズに仕事を再開し、安心して働きながら自分らしいキャリアを築くための支援に取り組んだ。

- ・開催日：令和2年11月10日～25日（全5講座）
- ・講師：永田 あかね氏
清水 文隆氏（パソコン講座）
- ・参加者：9人（延べ54人）
- ・内容：
 - ・今どきのお仕事事情
 - ・自分のチカラを具体化しよう
 - ・パソコン講座（5回）
 - ・意外と知らない職種のお話し
 - ・再就職後に役立つ、
職場が居心地のいい場所になる方法



(2) 男性の家事育児参画講座

◇男性が楽しく子育てや家事へ取り組むための知識や技能を習得するために弁当作り講座を開催。

子育て中の女性が離職することなく仕事を続けるためには、男性の子育てや家事への参画が必要。

男性の家事に対する抵抗感を払拭するきっかけにするため、食材を買い物に行くことから始め、購入した材料で料理を経験し、買い物や料理に関する知識や技能の習得を支援した。

- ・開催日：令和2年8月30日
- ・講師：管理栄養士 清水 文子氏
- ・参加者：3組（6人）
- ・内容：「父子でつくろう☆おにぎらず☆」



※女性活躍推進セミナー（中止）